

エコアクション21

0004421

環境経営レポート

2024 年度

【 実施期間 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 】



発行 2025 年 5 月 1 日

## 1. 株式会社イナック 環境経営方針

わが社は地域の環境計画に則り、廃棄物の処理を通して、環境保全に貢献する。

1. 環境関連法規制ほかの要求事項を遵守し、環境汚染の予防に取り組む。
2. 社員全員で取り組み、エコアクション21のシステムの向上を図る。
3. お客様の廃棄物処理に対して環境に配慮した提案をする。
4. 環境方針は全従業員が認識し、具体的成果を挙げる行動をする。
5. 騒音、振動発生の抑制のため、常に作業の見直し検討を行う。
6. 環境経営の継続的改善を誓約する。

代表取締役 倉 田 健 二

制定 2009年12月1日  
改定 2025年4月1日

## 2. 事業の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

株式会社 イナック  
代表取締役 倉田 健二

### (2) 所在地

〒399-4301  
長野県上伊那郡宮田村5339番地  
TEL 0265-85-4111  
FAX 0265-85-4114  
E-mail [info@inaku.co.jp](mailto:info@inaku.co.jp)

### (3) 環境管理責任者及びIQAの21 事務局の連絡先

環境管理責任者 橋爪 成  
IQAの21 事務局 片桐 徹  
連絡先 所在地と同じ

### (4) 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業及び処分業（中間処理）、  
建設業（解体工事）、ハウスクリーニング

### (5) 事業規模

設立 昭和48年1月  
資本金 7,340万円  
売上高 308,981千円  
解体工事 7,556万円  
従業員数 24人（令和8年3月31日現在）  
延床面積 2,850㎡  
敷地面積 210,000㎡  
車輛台数 13台

種 類	台 数
軽バン	3台
軽トラック	1台
2tパワーゲート	1台
4tパッカー車	1台
3tユニック	3台
4tグラブプル	1台
4tフックロール	2台
6tユニック	1台

### (6) 認証・登録対象範囲

全組織・全活動

### (7) 一般廃棄物 収集・運搬及び処分の状況

一般廃棄物収集・運搬業 許可市町村及び許可番号

地域	許可番号	許可期限	廃棄物の種類
上伊那郡辰野町	5辰第140号-12	R6年4月1日 ~R8年3月31日	一般廃棄物
上伊那郡箕輪町	7<生第275号	R7年9月13日 ~R9年9月12日	一般廃棄物
上伊那郡南箕輪村	7住第289号	R7年9月13日 ~R9年9月12日	一般廃棄物、廃油

伊那市	第2007006号	R7年11月7日 ~R9年11月6日	(1)一般廃棄物(可燃物、不燃物、一部資源物) (2)特定家庭用機器再商品化法対象4品目
上伊那郡宮田村	宮住第364号	R7年11月7日 ~R9年11月6日	一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、事業系一般廃棄物、廃油(廃植物油))
駒ヶ根市	生環~7-41	R7年11月6日 ~R9年11月5日	一般家庭から排出される可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・廃油 特定家庭用機器再商品化法対象4品目
上伊那郡飯島町	7住税第1439号5	R7年9月3日 ~R9年9月2日	粗大ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、事業系一般廃棄物、廃油(廃植物油) 積替え保管なし
上伊那郡中川村	2025 中建環第132号	R7年9月1日 ~R9年8月31日	資源ごみ・可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・家電5品目・廃油
下伊那郡松川町	7松住税第187号	R7年10月16日 ~R9年10月15日	(1)一般廃棄物 (2)生活系及び事業系ごみ
下伊那郡高森町	令7高森環水第639-2号	R7年9月27日 ~R9年9月26日	一般廃棄物(特別管理一般廃棄物を除く)
下伊那郡豊丘村	7豊建環第4-6号	R7年10月1日 ~R9年9月30日	特別管理一般廃棄物を除く、大量に排出された家庭系一般廃棄物(粗大ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ)、事業系一般廃棄物、廃油(廃植物油)
下伊那郡喬木村	7建環第67号	R7年7月29日 ~R9年8月29日	一般廃棄物

一般廃棄物処分業の状況  
宮田村内に限る

許可番号	許可期限	処分の内容
宮住第634号	R6年4月1日~R8年3月31日	一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、事業系一般廃棄物)の分別・破碎・切断、BDFの精製

(8) 産業廃棄物処分業(中間処理)許可品目及び施設的能力

事業の範囲	許可品目	処理能力
破碎・切断	廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	3.00 t/日
破碎	廃プラスチック類	2.72 t/日
	紙くず	3.44 t/日
	木くず	4.08 t/日
	繊維くず	3.44 t/日
エステル化	廃油(廃食用油に限る)	0.4m <sup>3</sup> /日

(9) 産業廃棄物収集運搬業の内容

・燃え殻 ・汚泥 ・廃油 ・廃酸 ・廃アルカリ ・廃プラスチック類 ・紙くず ・木くず ・繊維くず ・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ・鉱さい ・がれき類 ・ばいじん					
積替え保管量					
所在地	上伊那郡宮田村 5339 番地 1				
種類	汚泥	廃油	木くず	繊維くず(畳)	繊維くず
面積	4.0 m <sup>2</sup>	2.0 m <sup>2</sup>	2.0 m <sup>2</sup>	6.65 m <sup>2</sup>	20.0 m <sup>2</sup>
保管上限	5.1 m <sup>3</sup>	1.1 m <sup>3</sup>	2.0 m <sup>3</sup>	10.0 m <sup>3</sup>	40.0 m <sup>3</sup>
高さ上限	2.0m	1.0m	1.0m	1.8m	2.0m
種類	廃プラスチック類(廃タイヤ)		廃プラスチック類 (石綿含有廃棄物を含む)		紙くず
面積	6.65 m <sup>2</sup>		32.0 m <sup>2</sup>		23.9 m <sup>2</sup>
保管上限	8 m <sup>3</sup>		40.0 m <sup>3</sup>		28.0 m <sup>3</sup>
高さ上限	1.5m		2.0m		1.5m
所在地	上伊那郡宮田村 5348 番 2				
種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 (いずれも石綿含有廃棄物を含む)				
面積	30.81 m <sup>2</sup>				
保管上限	26.65 m <sup>3</sup>				
高さ上限	1.49m				
積替え保管を除く	燃え殻・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む)・鉱さい・ばいじん				

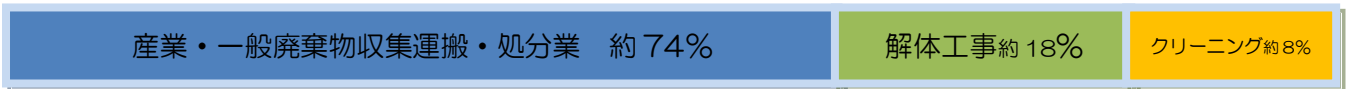
(10) 特別管理産業廃棄物収集運搬業の内容

積替え保管を含む	廃油	
	所在地	上伊那郡宮田村5339番地1
	種類	廃油
	面積	2.4m <sup>2</sup>
	保管上限	0.8m <sup>3</sup>
高さ上限	—	
積替え保管を除く	廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物、廃石綿等、汚泥	

(11) 許可の状況

許可名称	許可番号	有効期限
産業廃棄物収集・運搬業	2013043326	令和3年12月27日 令和8年12月26日
特別管理産業廃棄物収集・運搬業	2063043326	令和7年3月14日 令和12年3月13日
産業廃棄物処分業	2023043326	令和3年12月27日 令和8年12月26日
とび・土工工事業	長野県知事許可(般一29) 第 20304 号	令和4年9月18日 令和9年9月17日
解体工事業	長野県知事許可(般一29) 第 20304 号	令和4年9月18日 令和9年9月17日

(12) 事業内容比率(2024 年度売上ベース)



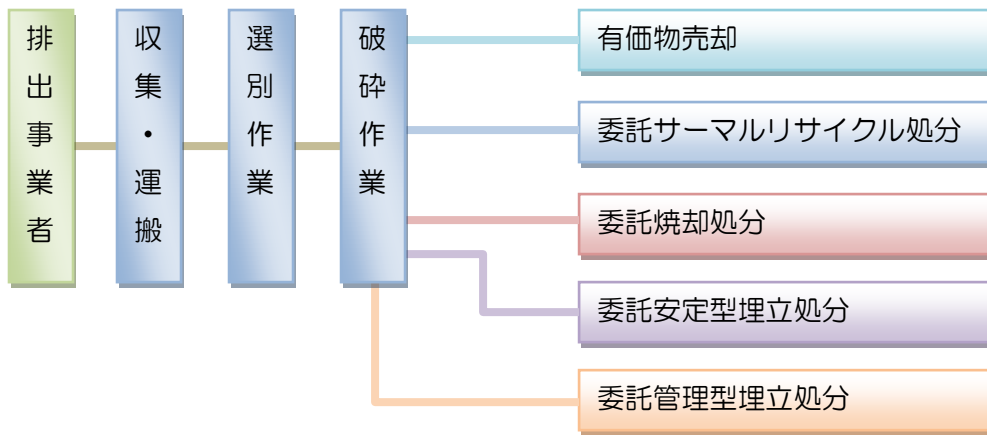
収集運搬量      ★一般廃棄物      1,046 t  
                          ★産業廃棄物      5,160 t

産業廃棄物中間処理量      5,779 t

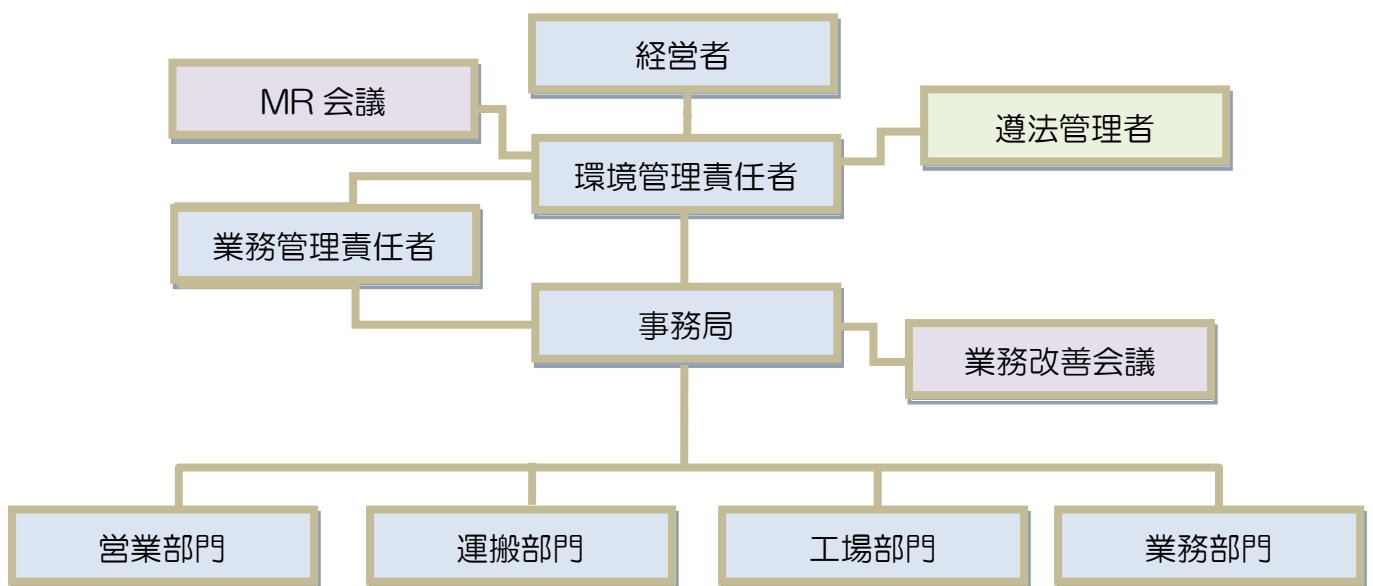
解体工事元請件数      10 件

解体工事下請件数      32 件

(13) 処理工程



(14) 環境活動実施体制



### 3. 環境負荷データ

注 排出係数は中部電力 2010 年度実排出係数 0.473 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用

### 4. ♪環境目標と♡環境活動計画及び結果

No	項目		2022 年度	2023 年度	2024 年度
1	二酸化炭素排出量		190583 kg-CO <sub>2</sub>	175397Kg-CO <sub>2</sub>	147658Kg-CO <sub>2</sub>
2	廃棄物排出量（中間処理後）		2600 t	3119t	2539 t
3	総排水量（水使用量）		138 m <sup>3</sup>	131 m <sup>3</sup>	168 m <sup>3</sup>
4	化学物質使用量		メタノール 838ℓ 苛性カリウム 58 kg 希塩酸 4ℓ 硫酸マグネシウム 3ℓ 酸化防止剤 6 kg 添加剤 9 kg	メタノール 3,120ℓ 苛性カリウム 218 kg 希塩酸 15ℓ 硫酸マグネシウム 0ℓ 酸化防止剤 23 kg 添加剤 27 kg	メタノール 4,720ℓ 苛性カリウム 340 kg 希塩酸 15ℓ 硫酸マグネシウム 0ℓ 酸化防止剤 23 kg 添加剤 38 kg
5	エネルギー 使用量	購入電力 [排出係数 0.473 kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	40976Kg-CO <sub>2</sub>	39199Kg-CO <sub>2</sub>	39393Kg-CO <sub>2</sub>
		化石燃料	149607Kg-CO <sub>2</sub>	136264Kg-CO <sub>2</sub>	108291Kg-CO <sub>2</sub>

### 中長期目標と単年度目標計画・結果・評価

項目	2023 年	2023 年	2023 年	2024 年	2024 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年
	(目標)	(結果)	評価	(目標)	(結果)	評価	(目標)	(目標)	(目標)
1 二酸化炭素排出量削減 (運輸部門の軽油使用量 ℓ)	23,000	23,402	×	23,000	22,811	○	23,000	23,000	23,000
2 未選別廃棄物在庫の最適化 (廃棄物分別量 m <sup>3</sup> /日目安)	40	39	×	40	35	×	40	40	40
3 売上に対する廃棄物処理費用	35	33	○	35	31	○	35%	35%	35%
4 排水量削減（削減困難維持目標） (水使用量の把握・記録 m <sup>3</sup> )	把握・記録	131	○	把握・記録	168	○	把握・記録	把握・記録	把握・記録
5 化学物質使用量削減 (削減困難維持目標) (化学物質使用量の把握・記録)	把握・記録	環境負荷データに記載	○	把握・記録	環境負荷データに記載	○	把握・記録	把握・記録	把握・記録
6 グリーン購入 (グリーン購入比率)	新規推進 50%以上	新規購入	○	ネット検索 50%以上	新規購入	○	ネット検索 50%以上	ネット検索 50%以上	ネット検索 50%以上
7 受託した廃棄物収集・運搬、処分 における環境配慮（廃棄物m <sup>3</sup> 当りの走行距離）	7 km以下	7.4 km	×	7 km以下	6.8	○	7 km以下	7 km以下	7 km以下

◎二酸化炭素排出量削減

△運搬部門の軽油使用量を 23,000ℓ 以内に抑える。

⊕暖気運転の削減 アイドリングストップ、BDF 使用に切替、産業廃棄物の廃油処分許可取得

結果：前年度使用量 23,402ℓ 本年度使用量 22,811ℓ

目標達成。次年度も 23,000ℓ 以下で目標設定。

◎未選別廃棄物在庫の最適化

△廃棄物分別量 40 m<sup>3</sup>/日

⊕作業改善を行い、分別量を増やす。

結果：35.0 m<sup>3</sup>/日

目標に対し未達。作業効率が落ちている。作業に適した人員等メンバー入替を検討する。

次年度も 40 m<sup>3</sup>/日以上を目標とする。

◎売上に対する廃棄物処理費用（廃棄物外部委託処分削減）

△ 35%以内目標

結果：31% 達成。もう 1 年 35%以内とし、様子を見る。

◎排水量削減

△水使用量の把握・記録

⊕水使用量の把握

結果：本年度の使用量は 168 m<sup>3</sup>。

⊕地下水量の把握

結果：地下水使用量 1,827 m<sup>3</sup>。

◎化学物質使用量削減

△化学物質使用量の把握・記録

結果：本年度の化学物質使用量は、メタノール 4720ℓ、苛性カリ 340 kg、希塩酸 15 kg、硫酸マグネシウムは 0ℓ、酸化防止剤 23 kg、添加剤 38ℓ でした。

◎グリーン購入

△グリーン購入比率 50%増加

結果：グリーン商品を社内周知し購入品については確認してから発注掛けるようにしている。

◎受託した廃棄物収集・運搬、処分における環境配慮

△収集運搬における廃棄物 m<sup>3</sup>辺りの走行距離の削減合計 7km 以下

⊕効率配車、運搬日報集計

結果：本年度の廃棄物 m<sup>3</sup>辺りの走行距離は 6.8 km で達成。

大型現場が多かった点効率が良くなったと思われる。次年度目標は変えない。

## 5. 次年度の環境目標及び環境活動計画

EA 指定項目	目標	施策内容	具体的実施項目
I. 二酸化炭素排出量削減	運搬部門の軽油合計使用量削減 23,000 ㍓以下	*配車管理を行い、全体での効率化	配車登録一覧表、軽油管理
		*収集運搬における $\text{m}^3$ 当りの走行距離削減 合計 7Km 以下	(Ⅷ項の履行)
	BDF 使用量の把握	*BDF 燃料は一部の車両と構内重機への使用 *BDF 使用量(直接的に軽油削減) ※二酸化炭素排出量の削減	*構内重機に BDF を使用。 *精製及び使用量把握
	ガソリン使用量の把握	*ガソリン使用量の把握	営業車他
	電気使用量の把握	電気使用量の把握	82,000 kWh 目安
II. 未選別廃棄物在庫の最適化	通期 40 $\text{m}^3$ /日以上分別	作業効率 UP	作業効率 UP (重機時間短縮・分別移動時間短縮) $\text{m}^3$
		作業・分別方法の変更	選別用土間に空ける際作業時間指示させる。
		混合廃棄物を適正に分別	混合廃棄物分別後の埋立比率の把握
		分別作業にライン導入	金属残渣でライン選別行なう。
III. 構内作業の騒音・振動の抑制	騒音のクレームを無くす	音が大きい時注意。並びに騒音検査。 (会社正門・道路際での測定)	*騒音計導入の検討 *工場壁整備、工場内作業
IV. 売上に対する処理費用	今期 35%以下	新規出荷先開拓	割合管理
	廃棄物売上に対する廃棄物処分費の割合	適正分別の推進 随時適正価格の見直し	各業者処分単価を常に注視
V. 総排水量削減	使用量の月次確認	水使用量の把握	上水の使用量記録 $\text{m}^3$
		地下水使用量の把握	地下水の使用量記録 $\text{m}^3$
VI. 化学物質使用量把握	BDF 精製における化学物質使用量の把握・記録	使用量の集計	メタノール投入量の記録 $\ell$
			苛性ソーダ投入量の記録 kg
			酸化防止剤量の記録 kg
			凝集剤投入量の記録 kg
VII. グリーン購入	グリーン購入推進	再生コピー用紙等使用	グリーン商品の周知 「エコ商品ねっと」参照
VIII. 受託した廃棄物収集・運搬・処分における環境配慮	収集運搬における $\text{m}^3$ 当りの走行距離合計 7 km以下の標準化	収集運搬における $\text{m}^3$ 当りの走行距離の削減 (7 km/ $\text{m}^3$ 以下)	効率配車
		効率配車	運搬日報集計、フィードバック

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

\*以下の法が適用され、遵守状況を確認したところ下記の結果でした。

また、関係当局からの違反の指摘は、過去5年間ありません。

\*本年度の苦情の受付もありません。

関連法規	法等の違反の○×	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<b>【産業廃棄物】</b>	
	・処理基準の遵守	○
	・処理困難通知の義務化	○
	・許可業者等以外の処理の受託の禁止	○
	・再委託の原則禁止	○
	・帳簿の記載等	○
	<b>【一般廃棄物】</b>	
	・処理基準の遵守	○
	・再委託の禁止	○
	・帳簿の記載等	○
家電リサイクル法	再商品化へ協力	○
建設リサイクル法	特定資材の再資源化、工事の届出	○
地元区公害防止協定	操業により音は視界点で 60 ホーン以下とする	○
道路交通法	違反者なし	○
労働安全衛生法	年 1 回の健康診断	○
消防法	防火施設の管理	○

## 7. 経営者による評価と見直し

- \*できるだけ経営に直結する目標を立てることで、環境負荷の軽減、並びに経営の健全化を図っている。結果が達成できなかった項目は、より問題意識を高めていく。
- また、達成できている項目は実績に合わせて目標を変更し経営の健全化・環境負荷の低減に努める。
- \*昨年度分別の質が適正かつ利益につながっているか疑問があり、数値管理方法を検討させ、今年度から混合廃棄物に対する分別後の埋立比率の管理を始めた。記録を残しながら健全化を図る。
- また、分別含め工場は個々の能力で実績が左右されている。適材適所の配置転換を検討させている。
- \*現在廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製して、構内の重機に使用中。また、(株)サンポーでは軽油にイナックが提供しているBDFを混ぜ、B5（BDF5%）として販売開始している。
- 高純度バイオディーゼル燃料を広く社会にアピールし、販売強化に努めている。
- 高純度 BDF 使用量（＝軽油削減＝カーボンニュートラルのため CO2 削減）を把握するとともに、エネルギー削減量も数値化していく。